

# なのはな

・ ・ 体も心も大きくなる時 ・ ・

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキナーダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

◇城東子育て支援センター・あんと

◇なのはなガーデン

〒420-0961 静岡市葵区北一丁目16-5

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

空が高くなり秋のおとずれをやっと感じるこの頃になりましたが、夏の疲れは今からです。くれぐれも気をつけましょうね

そして、例年になく蒸し暑い夏や台風などの自然災害が続いています。こんなに自然や災害の変化が大きくなっている背景に温暖化があると言われています。秋は、食欲、読書、おしゃれ、バーゲン等などの心を躍らす季節ですが、頭のレンズを後ろに引き「社会や世の中のことや政治のこと」も一緒に考えて、子ども達に素敵な笑顔と自然をこれからもず～と残していきたいですね。

10月は、あおぞらにとって大切にしているあそび虫運動会があります。1年のちょうど半分の月で、みんなの年齢差が真ん中になる時に計画しています。大きな目標は、**体を動かすことが好きになる感覚を育てること**です。

それは、乳児から幼児まで（入園してから今まで）、保育の中で育ってきた体の表現を通して見ていただくのですが、一人一人の子どもの育ちとあそびなかまの関係の育ち。つまり見えない内面の育ちを大切にしていることが大きな特徴です。

運動会があるからやるのではなく、一人一人が、その気になり、活動の主人公になる事で自我（自分らしさ）が育っていくと言う考えです（年齢によってとりくみ方がさまざまです）

ですから子どもにとって運動会は、当日だけでなく毎日の保育の中の連続した中の一日です。でもその1日が、その子にとってなかまにとって、輝けるよう大事に保育を進めています。くれぐれも、子どもが言い出す（主体的になる）までは「今度は、運動会だねえ」等と大人から言わないでね。とお願いしている意味でもあります。

そして、あそびむし運動会を今からドキドキ、楽しみにしている方もおられると思います。この行事を通して親と保育者が子どもの大きくなった姿を共感しあい子育ての喜びを感じることが出来るようにと願っています。

当日は「おとなも子どもも遊び虫！」と、一緒に楽しみましょうね。

子ども心は、大人心から見ると分からない事だらけかもしれませんが。でもその魅力に取り付かれ保育をしていると大人心の方が、ずっと難しいと思うこの頃・・・。当日は、大人も子ども心になって楽しみましょうね！

(おか)

# あおぞらだより

## お泊り保育のつぶやき

～あこがれが育つとき～

- M: 「人形とか持ってきて、寝るときに使う ギョーザとか焼いて 歯磨きとかした」  
S: 「ギョーザ作ったり 寝るときに人形使った」  
K: 「ギョーザを作ったり みんなと遊んで歯磨きをして 幼稚園の探検して楽しかった」  
W: 「カップおやじから手紙が来て 腕輪を取りに行つて 大事にした」  
A: 「腕輪取りに行つて ギョーザ作つて いろんなことして楽しかった」  
R: 「ハンバーグのギョーザ作つたもんで楽しかった」  
N: 「カップおやじの手見た 腕輪2個あったからね～取つて嬉しかった 宝箱に入れた」  
U: 「ギョーザ作つて 歯磨きして 寝袋入つて 人形ギューツとしてから寝た こどこだ一と思つて起きたらN君が起きちゃつた みんなも起きた」  
H: 「カップの腕輪 怖くて 取りに行つて泣いちゃつたけど嬉しい」  
I: 「(腕輪取りに行つた時) 最初は怖かったけど 頑張つて取りに行つて 寝てるときになくさないように寝た」  
G: 「カップの手紙が来て かつおおやじ見て 泣いてないけど トイレの前にあつて1個取れた」  
O: 「夜ね～お人形持って寝た お泊り楽しみに行つて すっごく楽しかった」  
T: 「(腕輪とりに行く時) 緊張したけど行けちゃつたけど 真っ暗で1人だったから。そうだ！つて思つた。夜ねるときさ～寝袋入つたけど寝れなかつたけどさ～ぬいぐるみ持ってさ～寝たら うわ～～～いい夢見て 楽しかった」  
N: 「(カップおやじの手) 見た！ 人間と同じ手みたかつた」  
M: 「つらいとき力がわく」  
C: 「かわたろうから手紙来て 嬉しかった～」  
「温泉行つて 川行つて カップになつたよパーティー」

A: 「(温泉) ずーっと入りたかつたあ～」

これは先日のたいようぐみ(年長)『カップになつたよパーティー』(お泊り保育)を経験した子どもたちがにじ(年少)・そら(年中)ぐみさんに、振り返つてその時の話を伝えているほんのひとコマの様子です。

たいようぐみになると「前のたいようさん してたから・・・」「たいようさんだから・・・」といろいろやりたいことがあるそのうちの1つがお泊りです。楽しみと同時に泊まれるかな～という不安ももちろんありますが、楽しさと仲間の中で迎えた翌朝の子ども達の顔を見ると何かひとまわり大きくなつていたように思いました。

そして、自分の言葉で誇らしげに小さい子に伝える姿。

「ほしいな～(カップの腕輪)」「やりたかつたな～」「そらさんもそ～ゆ～ことしたいなね～「ちょっと怖いね」「たいようさんになつたらね」「たいようさんみたく」・・・

年少・年中組の経験が線となつてつながつているのだと思います。また来年も再来年も楽しみですね。

(いなば)

## わとと・あおぞら

### 秋のいいもの みつけた

先月わとと・ガーデン(継続型一時保育)2歳児の子ども達と、敬老の日のお手紙をポストに投函し、お散歩をしていると、 ”あっ、いいものみつけた！

静岡駅近くのホテルの裏庭に、まてばしいのどんぐりがころころ・・・

おおきなどんぐりなので、子ども達にも見つけやすく ”とって～” ”みたことあるの” ”ほしーい” 早速 ”どんぐり ください” とみんなでしゃがんで、ぽとんぽとんと拾いはじめました。、

”あらっ、こっちにもあるわよ、今年のどんぐりは落ち始めたばかりよ。どーぞ。”

ホテルの方が声をかけてくださいました。

”ママにどーぞする” ”おかあさんのおみやげに”と、いっぱい見つけてはニコニコの子ども達。

わととがある街中でも、とんぼや彼岸花、エノコログサなど秋みつけが楽しめます。

子どもと一緒にゆっくり、ゆっくり、歩いていくと。

<かよみ>

## 城東子育て支援センター あんと

9月8日の十五夜はあいにくの雨で満月を見ることができず残念でしたね。あんとでは9月のお月見会でお月様の絵本や歌、十五夜さんの手遊びを楽しんだ後、実りの秋の果物「ぶどう」を親子で食べました。

あんとでは、季節を感じられる行事、日本に由来のある行事を取り入れて、親子で体験して楽しんでもらえらと考えています。

それをきっかけに、身近にある草花虫に目が向けられたり、夜空を見上げながら散歩に出かけたりなんていう時間が親子で過ごせたらステキだなあ～・・・と。

さて、10月のお月見では、お月様に会えることができるでしょうか。今からわくわくしちやいますね。

10月15日のあんとのお月見会は、子育て支援センターまつりにて行います。

10:00～12:00葵スクエアにてお月見にちなんだ工作や遊びを用意しています。

是非親子で遊びに来て下さいね！！

(ゆうこ)

## まほろばの部屋から

### ナイショの話は

大体1年ずつ年齢の離れた3人の子どもたちとのエピソードです。(年齢のまま②ちゃん、③ちゃん、④ちゃんにしますね)

③と④が飴を食べようとしていました。

私は「②ちゃんには内緒にするんだよ。まだ小さいから、飴は食べられないからね。」と伝えると、

③④「わかった～」「ナイショだよねー」「大きい人だけだもんね～」とナイショを喜んでいました。

無事二人は②に会う前に飴を食べ終わり、そのあと②がやってきて、三人で遊びだしました。

遊んでいると少して、唐突に③が「飴かんじゃったつけ。」と言うのです。

④は苦い顔をして③に「②ちゃんは知らないんだよ」と言いました。

でも、③は「？」の顔。②は気にすらしていない様子でした。

ホントのナイショがわかっていて、相手の考えや気持ちを予測する4歳。

さっきのナイショは楽しむけど、今の発言とは繋がらない3歳。

今の会話から、自分の見ていない事なんて推測出来ない2歳。

理解の段階が違うのですよね。「心の理論」と言われるものとも関わります。

それぞれの段階がはっきり見えて、面白いなあと思った出来事でした。

(はるみ)

## なのはなガーデン

なのはなガーデンに8月より3人のお友だちが仲間入りしました。

初めてお家の方と別れて生活することに不安がいっぱいで全身を使って泣いていました。それは当たり前姿ですよ。そしてお家の方も同じ気持ちで送り出していたことでしょうね。

泣いている子を目の前に保育者たちは何ができるでしょう。不安を少しでも軽くしてあげたいという気持ちはいっぱい。抱っこしたり、お散歩をしたり、一緒に絵本をみたり・・・それでも毎日泣き続ける姿を見ていると、「どうしよう」「何とかしていかないと」とあせる気持ちが出てきます。でも、ここで落ち着いてみると、“あれ！？泣いていても昨日とは違う泣き方だ” “今日はお茶を少し飲んだよ” “笑った!” “泣いている時間が短くなってきた” と子どもの変化に気が付きます。これが保育者にとっての大きな喜びとパワーになっていくんですよ。

そして、周りにいるちょっと先輩の子ども達も泣いている子におもちゃを貸してあげたり、いないいないばあをしてみたり、自分もたくさん抱っこしてほしいけど、手をつなぐことで気持ちの折り合いをつけたりと、大きな成長をしているのがとてもよくわかります。こうしてみんなで育ちあっていく仲間がここにいるんですね。 (未)